

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	長寿支援課	事業No.	340
事務事業名		会計	介護保険特別会計		
		事業区分	政策	実施区分	新規
		開始	R2	終了	
根拠	主要区分	主	記号 計画等名称		
	戦略計画		6 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす		
			7 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる		
	分野別計画		高齢者福祉計画・介護保険事業計画		
法令・例規等		介護保険法			
事業目的	対象	日常生活の支援が必要な65歳以上の高齢者			
	意図	共助による日常生活支援の体制づくりが推進され、健康な在宅生活を送ることができる。			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	・下久堅地区をモデル地区として、生活支援コーディネーター・地区・社協と連携を取り、通いの場等の再構築や立ち上げを目指し検討を始まりました。 ・地域資源の洗い出し、関係者による意見交換会を実施し、目指したい通いの場の在り方と、そのために必要な取組みや課題について検討を行いました。		生活支援コーディネーター委託料				934					
			その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	モデル地区の集いの場新規設置又は再構築数		箇所							1	1	
2年度決算(千円)	予算額		1,400	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		934	(国) 地域支援事業交付金 (38.5%)								
	財源の状況	国庫支出金		360	(県) 地域支援事業交付金 (19.25%)							
		県支出金		180	(そ) 一般会計繰入金 (19.25%)							
		地方債		0								
		その他		180								
一般財源		214										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	5	5	3	1	20	2	1,400	934	生活支援サービス創出コーディネート事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		・新型コロナウイルスの影響により、年度前半は通いの場がほぼ休止となったため、現場視察や地域資源の洗い出しができず、事業の動き出しが年度の後半になってしまいました。いかに地区の力を引き出しながら、行政の通いの場の事業も再構築するかが課題です。また、他地区への横展開を見据えて事業を展開する必要があります。								
上記の課題解決のための有効策		・生活支援コーディネーターを中心に、地域で一緒に考え、実施するための検討を進める必要があります。 ・介護予防事業を実施している保健課とも連携し、他地区への横展開を見据えながら進める必要があります。								
次年度に向けての取り組み		・モデル地区での実施に向けて課題や意見を整理し、具体的な実施方法や事業内容の検討を進め、通いの場の再構築を目指します。								